



会場は笑いの渦に...

第7回県民公開講座
第79回会員研修会

2月17日(日)午前10時から11時30分まで、名古屋駅前のウインクあいち(愛知県産業労働センター)5階小ホール1にて、第7回県民公開講座(第79回会員研修会)が開催された。一般県民113名と会員190名・勤務柔道整復師2名の合わせて305名の参加があった。開講にあたり佐久間会長は、「わたしたちは伝統医療である柔道整復を業として、県下で接骨院あるいは整骨院を開業している仲間の集まりである。たくさん同業者があるなかで、このような催しなどで唯一県民のみなさんの健康・福祉の向上に寄与する団体として県知事から公益社団法人の認定を受けている。第6回まではおもに大学の学長や医学・スポーツなどの研究者を講師にお招きしていたが、今回はガラリと視点を変えて芸能界の中で健康に関する成果を話題として提供いただける方をと考へ、皆様ご存知の講談師・水谷ミミさんに、『笑顔にまさる薬なし』と題して講演いただく」と紹介し挨拶とした。

早春を思い起こさせるような浅黄色の振袖で登場した水谷さんは、漫画トリオのパンチこと上岡龍太郎氏を心の師匠と仰ぐ。また横山ノック氏との親交も厚く、大阪生活時代には桂ざこば氏のご自宅にも泊まったという。そんな思い出や、ご自身を取り巻く豊富な人脈から積み重ねた人生経験を素材として講演いただいた。



90歳を超えたお母様の介護での孤軍奮闘ぶりなどを紹介しながら、難が有るから有難いということ、辛いという字は一本加えれば幸という字になること、悩みの95%は悩んでもどうにもならないこと、笑って暮らすとNK(ナチュラルキラー)細胞が2,000個でき4回大笑いすると、1日8,000個できると言われている癌細胞をすべてやっつけてくれること、その笑いは作り笑いでもいいこと、暗く陰気で愚痴ばかり言い人の悪口を言う人には貧乏神が憑くこと、「喜ばば喜びごとが喜んで喜び集めて喜びに来る」ということ、くよくよしないで笑っていれば大難を中難に、中難を小難にできることなどを機知に富んだユーモアを連発して語られ、会場を笑いの渦に巻き込んだ。



健康で長生きするためには、1日4回よく笑い、くよくよせず、愚痴を言わず、感謝の言葉を述べること、明日から少しずつ続ければ3~4ヶ月で世界が大きく変わると人生訓をまとめられた。

後半15分は雰囲気を変えて水谷風麟として講談を行われ、蟹江ぎんさんの娘さんで大正生まれの4人姉妹、合計372歳の日常を素材に、キレとテンポが特徴である講談の真骨頂を楽しませてくれた。

新しい視点で開催された今回の公開講座は、たくさんのお顔を残り滞りなく終了した。参加者にとっては、水谷さんの講演こそが何にもまさる薬であったに違いない。

災害伝言ダイヤル「171」実施される

2月1日(金)、災害伝言ダイヤル「171」の訓練が今年も実施された。本会の171連絡網では、昨年度までは地区会員の安否情報を集約して副本部長(副会長)に報告するのは地区理事の役割であったが、公益認定により組織の改編が行われたため、今年度からその役割は各支部支部長が担うことになった。したがって今回は、支部長が役割に慣れることを主眼として、一般会員を含めず、支部長から副本部長、副本部長から本部長(会長)に情報を伝えることとした。支部長は1日の午前10時までに、「訓練。〇〇支部会員異常なし」という文言で録音し、副本部長がそれを確認して本部長に伝える。

訓練は8支部で概ね問題なく実施されたが、2支部で伝言が録音されず不首尾に終わった。事業部では今回の結果を踏まえ、支部長に周知徹底をお願いして今後の活動に活かしていきたいとしている。



(.) 翔・新入会員 (.)

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
深谷 高治	S45.10.12	鶴舞	米田柔整	五段	柔道



柔道整復療養費取扱研修会

2月6日(水)・7日(木)午後1時30分から3時まで、愛整会館において柔道整復療養費取扱説明会が開催された。1日目は297名、2日目は292名の計589名(うち勤務柔道整復師2名)が参加し、2階会議室も利用しての開催となった。

1日目は全国健康保険協会愛知県支部より、業務部長の深沢英二氏ほか2名が来賓として同席され、深沢部長が昨年の同支部での医療費・療養費の取扱い額や件数を提示し、「柔整療養費の伸び率が大きいメリハリをつけた適正化、すなわち不正請求には厳格に対応していきたい。どうしてこれが返戻?と思うような事例もあるかもしれないが、適正化に向け返戻は保険者の義務であるので理解してほしい」と適正施術・適正申請への協力を依頼された。



深沢英二業務部長

研修は以下の項目について行われた。

- 1. 料金改定の経過報告** (森川副会長)
今年度料金改定が行われなかった経緯や、社会保障審議会医療保険部会・柔道整復療養費検討専門委員会の議事内容などを説明し、多部位施術・長期施術・頻回施術の算定について説明。
- 2. 施術録の記載及び施術指針表について** (堀保険部長)
施術録・情報提供書・施術指針表の書き方を、例示して説明。
- 3. 算定基準の留意事項・注意事項** (堀保険部長)
負傷原因、初検料の算定、時間外・深夜・休日加算、往療の算定、後療依頼、長期理由、転帰について注意点を説明。
- 4. 返戻について 分析と対応** (堀保険部長)
返戻の内容を分析・分類して提示し、それぞれの項目について算定不可の理由を説明し、対応を詳解。
- 5. その他の注意事項** (堀保険部長)
施術所外での施術、医科との併診と対診、肘内障、材料費について注意点を説明。



森川副会長



堀保険部長

かつては何ら問題がなかった申請書の返戻が増加しており、それに戸惑い頭を悩ませている会員がほとんどであろう。参加者はこのような返戻にも対応していくために、保険部長らの話に真剣な面持ちで聴きいていた。

玉川元理事、医療功労賞受賞

和58年から平成19年ま
療に尽くした人に贈ら
れる第41回医療功労賞
(読売新聞主催)に、昭



での長きにわたり本会
理事を務めた玉川雅淳
会員(69歳・鶴舞)が
選ばれた。2月8日に
は名古屋観光ホテルで
表彰式が開かれ、玉川会
員は「痛みを訴える人が
治療によって日に日に
良くなっていくのを見て
るのが原動力になって
いる」と挨拶した。
(読売新聞2月2日、
2月9日付より)

受賞の連絡を受け、「えっ? われた。」「資格を取っておくの、僕なんかでいいの」と、喜びも柔道の記念になるかな。最近も先驚きがわいたという。初は軽い気持ちだったが、伝統の小学3年で柔道を始め、東京の大学に進学後も活躍。「将来、事に慣れがわき、技術の習得に力。仕事を通じて、高齢者の自立支援の必要性を痛感し、院内と緑区に老人介護施設も開設した。「健康を確保してもらい、不安を少なくしてほしい」と。国家試験に合格し、接骨院での修業を今年も続けていく。患者のために奔走する。「無我夢中の35年間だった。体の続く限り続けたい」と意気込む。